

# 測量におけるBIM/CIM活用目的

- BIM/CIMで用いる地形モデルを新たに作成するため、面的に3次元計測する測量手法が用いられる。
- 測量業務を実施する目的(概略設計、予備設計、詳細設計における3次元データを活用した検討)に応じて、地形モデルに必要な範囲や精度が異なるため、所要の精度を満たす地形モデルを作成する必要がある。
- 面的に3次元計測を行う測量手法には複数種類の手法が存在するが、各測量手法は得手不得手があることから、目的に応じた測量手法の使い分けや、組み合わせが必要である。
- 3次元測量は、「国土交通省公共測量作業規程」及び「マニュアル」に規定する手法で行い、所定の精度管理を行うことが必要である。複数の測量手法を組み合わせる場合には、それぞれの要求精度を考慮して利用する。

# 地質・土質調査におけるBIM/CIM活用目的

- 地質・土質モデルを作成することによって、本体構造物と地質・土質構成等における位置関係を立体的に把握することで、関係者間での地質・土質調査成果に対するイメージや地質・土質上の課題等を容易に共有することができる。そのため、追加すべき補足調査や計画立案に関する検討を円滑に進めることが期待できる。
- 地質・土質モデルは、各事業の特性や測量・調査、設計、施工、検査及び維持管理・更新における各事業段階で使用目的が異なるため、モデルの種類ごとの特性に留意し、目的に応じたモデルを選択する。
- 地質・土質モデルを次の段階に継承する場合は、モデルの作成や更新、追加の方針、モデルの品質等の引き継ぐ情報の記録方法について検討する必要がある。